

第1回 伊勢市公共施設等総合管理計画検討委員会議事概要

1. 日時 平成27年2月23日 月曜日 午後4時～午後6時
2. 場所 伊勢市役所東庁舎4-2会議室
3. 出席者
 - (1) 委員出席者
筒井委員、上井委員、河村委員、奥出委員、加藤委員、森本委員、大西委員
 - (2) 市出席者
鈴木市長、森井情報戦略局長、椿情報調査室長、中川情報調査係長、西澤
4. 市長あいさつ
5. 委員紹介
6. 伊勢市公共施設等総合管理計画検討委員会設置要綱について
 - ・「計画策定に際して、それぞれの立場からご意見を頂戴するもの」とあるように、委員会として意見をまとめるものではない。
 - ・10人以内とあるが、7名でスタートしており、計画策定が進む中で必要があれば追加することもありうる。
 - ・市より、委員会は公開を基本としたいと提案した。
 - ・これに対し、委員からの異議はなかった。
7. 議事
 - (1) 委員長・副委員長の選出について
 - ・委員より、市の案を求める声があった。
 - ・市より、委員長には筒井委員を、副委員長には上井委員を提案した。
 - ・これに対し、委員からの異議はなかったことから、委員長が筒井委員、副委員長が上井委員に決定した。
 - (2) 公共施設等総合管理計画の策定要請について
 - (3) 全体のスケジュールについて

市

 - ・関連する事案であることから、併せて説明した。
 - ・資料5 総務省からの策定要請について説明
 - ・策定にあたっての指針も同時に示されている。
 - ・資料3上段、これまでの取組みについて説明
 - ・本市では、「基本方針編」と「用途別・地域別編」とに分けて進めていく。
 - ・基本方針編はH27年8月を目処に、用途別・地域別編はH28年3月を目処に策定していく予定である。
 - ・委員会は、用途別・地域別編の策定まで関わっていただく。

委員

 - ・委員会の開催が、基本方針編で6回、用途別・地域別編で3回となっている意味合いは。

市

- ・パブリックコメントをする前に 4 回の開催を経て、しっかりと基本的な方向性を固めたい。
- ・第 5 回、第 6 回では用途別・地域別編の議論になる可能性もあることから、状況によっては調整が必要であると考えている。

委員

- ・開催日程は事前に十分な調整をすること。
- ・資料の配布は事前に行うこと。
- ・意見交換会とはどのようなかたちになるのか。どのような規模で、どの程度煮詰まったものになるのか。他市の事例を聞きたい。

市

- ・今回は初回ということで、全員が揃うことを重視したが、2 回目以降難しいこともあるかもしれない。
- ・その場合はメール等で意見をお伝えいただきたい。
- ・資料はなるべく早くお渡しするようにする。
- ・意見交換会については、回数、規模等、具体的には未定であり、これから検討していきたい。

(4) 伊勢市公共施設等総合管理計画基本方針編（原案）について

市

- ・資料 4 について説明
- ・当日配布資料について、該当項目の箇所について随時説明

委員

- ・21 ページ、「30 年かけて面積 15%減を目指す」ということで、「既存施設のあり方を見直して達成することが何とか可能となる数値」という言葉の意味合いを確認したい。

市

- ・既に策定済み、策定中の個別施設計画の数値の積上げでおおむね 14%、それに少し全体の調整を加えて 15%になるという見通しであり、その意味合いを表現したものである。
- ・表現は検討の余地があると考えている。
- ・また、15%という数値目標や、そもそも数値目標の設定がふさわしいのかどうかについても議論が必要と感じている。
- ・数値は確定したものではない。
- ・全国的に、他自治体の策定済みの計画によると、20%や 30%といった目標を掲げているところもある。
- ・実質的にはそこまで掲げると市民サービスがどうなのかといった議論もあると思う。
- ・これを叩き台として、そういったさじ加減をご検討いただきたい。

委員

- ・ 25 ページの図 4-4 について、利用状況の表すものは、利用率なのか利用者数なのか。

市

- ・ 白書では率で掲載しているが、率で表現するのが適切かどうかは判断が難しいことから、利用状況といった表現にしている。

委員長

- ・ 数値目標に関してはこれだけでは判断しにくいことから、必要な資料は市に求めることができる。
- ・ 例えば他市との比較は有効だと思うので、他市の策定済みの計画等があれば次回資料として求めたい。
- ・ 前から順に意見を聴きたいが、「はじめに」の部分では何かあるか。

市

- ・ 一部訂正箇所について説明
- ・ これは原案として作成したので、市でも確認するといくつか直すべきところがあると感じている。

委員長

- ・ 第 1 章は。

委員

- ・ 総務省に提出することよりも、市民に示すことを重視するのであれば、表現が分かりにくい。
- ・ 解説等を設けた方が親切だと思うし、パブコメをしたときも意見が出やすいのでは。
- ・ 全体的な流れについては、現状があって、将来像があって、歳入が足らなくなるから対策が必要だというのは非常によく分かる。
- ・ 用語集でも、※印でも分かりやすくしていただきたい。

委員長

- ・ 試算ソフトとはどの市町もこれを使うのか。

市

- ・ 総務省が配布しているものをバージョンアップしたもので、総務省からはこれを必要に応じて活用するようにとのことである。
- ・ 分かりやすい表現としていきたいが、あまりにも噛み砕いた表現にするつもりはない。
- ・ 計画書として、誤解を招かないような表現にしたい。

委員

- ・ 水道事業、下水道事業、病院事業の建設改良費は特別会計なのか。

- ・伊勢市の歳出全体の、480-500億円の中には入っていないのか。
- ・このような特別会計は、この3つの他にはないのか。

市

- ・一般会計とは別の、企業会計である。財布が別になっているが、市の事業である。
- ・480-500億円には入っていない。
- ・他には国民健康保険等に関する会計があるが、公共施設、インフラ等に係るものはここに上げた3つに限られる。

委員長

- ・10ページ、「インフラ等」という表現はこれでよいのか。用語集に入れた方がいいのでは。

委員

- ・円グラフの表現が細かすぎるのでは。

市

- ・試算ソフトのグラフはこのように出てきてしまう。
- ・見にくいという指摘は庁内でもあったので、工夫したい。

委員

- ・3.05㎡というのが多いか少ないかよく分からないので、何とコメントしていいのか分からない。

市

- ・16ページが他市との比較になっているが、サンプルも少なく、データにも偏りがあると思われる。

副委員長

- ・10ページの、公共施設等のところについて、施設名称と面積を全部載せてしまうのはどうか。
- ・15%といった根拠を考えるのに、どの施設を削減したら達成できるのかというのは、総リストのようなものを掲げておくのがいいと思う。

市

- ・H25年度末のデータをもとに各種試算を行っているので、時点の関係整理が複雑となる可能性がある。
- ・また、現時点の基本方針編では、各論に陥ることを避け、総論で議論を持っていきたい。

委員

- ・15%を考えるにあたっては、総論も各論も同時並行で考えていくのがいいのでは。それを出すか出さないかは別として。

委員

- ・17ページの公共施設マネジメントの必要性を言うためだけに前段が作ってあるように思うので、前段について議論するのはどうかと感じている。

委員

- ・市民サービスという市民の目線でも考えないといけないし、行財政改革の目線でいくと厳しいものにしないといけない。
- ・言い方が難しい。

委員長

- ・基本方針を作っていくに当たり、「森を見ずに木を見る」といった議論があるが、今の15%は「木」を足し合わせたものだということ。
- ・いずれ、「木」の議論は出てくるので、総論としては「森」を見る作業としていきたい。

委員

- ・伊勢市の耐震化は、比較的対策されているということだが、これまでにどれくらいの投資をしたのかを議論に含めるべきでは。

市

- ・耐震が済んでいるからといって、寿命が延びているというものでもない。
- ・グラフは建築年等を踏まえて積上げたものとなっており、この時点でいったん状況を切り取って、今後どうしていくかを考えるために示している。

委員長

- ・第2章で財政と公共サービスの天秤の絵を掲げているが、第1章もそれに対応して公共サービスの現状について記載すべきでは。

副委員長

- ・24ページの図は、今後データを示してもらって検討していくものか。

市

- ・この図は全国的なモデルとして示されているもので、全て正解というわけではないが、ひとつの現実的なスタンダードとして示している。

委員

- ・15%は国から言われた数値なのか、伊勢市で決めた数値なのか。

- ・私は床面積ではなくて、金額で表現した方がピンとくる。

市

- ・市で、暫定的に下位計画を積上げたもので、15%がいいのか、そもそも数値を出すの
がいいのかは議論の余地はある。
- ・そもそも計画を作るのが最終目標ではなくて、その先に大きな課題があると考えてい
る。
- ・委員のみなさんにはその辺も含めてご意見をいただきたい。
- ・総論の段階で納得していないと、各論で先に進めないとされている。

委員

- ・撤去や廃止は使っている人にとっては後退を表す。
- ・それでもやらないといけないというのを理解してもらえるような計画にしないといけ
ない。
- ・個人的には私も金額で表現した方が分かりやすい。

市

- ・金額で考えるのは大前提だと思うが、これまで面積で考えてきた。
- ・面積で考えることが、確実に金額とリンクするかということそうではないが。

委員長

- ・次回以降、7名の委員が集まるのは難しいかもしれないが、意見はメール等で市に伝
えてもらえば、次回の委員会で紹介するようにしたい。

(5) その他
なし

8. その他

- ・次回委員会の日程調整
(省略)